



沼津版スマートシティ「X-Tech NUMAZU」が始動

情報通信技術(ICT)や人口知能(AI)等の先端技術をまちづくりに活用し、市民の利便性と生活の質の向上を図る“スマートシティ”の取り組み「X-Tech NUMAZU（クロステック・ヌマヅ）」が始動しました。その概要についてお知らせします。

沼津版スマートシティの推進組織は？

- 産学官で構成する「X-Tech NUMAZU 協議会」。
- 協議会には、市内に事業所を構える3つの企業や、専門的知識と経験を有する学識経験者が参画。



設立時構成員（幹事会）

50音順・敬称略

企業・団体	株式会社 I H I
	富士通 J a p a n 株式会社
	株式会社 明電舎
学識経験者	東京大学先端科学技術研究センター 特任准教授 吉村有司 (バルセロナ市など多数の都市計画プロジェクトの経験を有し、ビッグデータやAIを活用したまちづくりの分野でご活躍)
地方公共団体	沼津市

取り組みを進めていく分野は？

- 行政運営の効率化
- 次世代モビリティサービスの推進
- 環境負荷軽減、再生可能エネルギーの活用
- 教育及び子育て環境の充実
- 市民の健康及び福祉の向上
- 災害予防及び災害対策

今後の取り組みは？

- 協議会でスマートシティ推進の方針や解決すべき課題と施策の方向性を検討
- 協議会に専門部会を設置し、具体の取組に向けて詳細を検討
- 沼津市の3D都市モデル(3次元の地理空間データ)を一般公開
- 2021年秋に市民の理解や周知を図るシンポジウムを開催
- 2021年度中に具体的な推進事業計画を策定



沼津市公式YouTube “NumazuTV” にて、沼津版スマートシティの取り組みを紹介する動画が公開されています。ご覧下さい。

市公式YouTube

沼津市議会副議長に就任

令和3年6月定例会にて、第101代副議長に就任しました。

副議長は、市議会を代表して議場の秩序保持・議事の整理・市議会の事務の処理等などを行う議長の補佐役です。議長が出張や病気、その他の理由で不在の場合に議長の代わりを務める役割も担います。責任の重さを痛感し身の引き締まる思いです。

市民の思いを市政に反映するのが地方議会の原点と考えます。多様化する市民ニーズにきめ細やかに応えつつ、議員個々が市民の代弁者として議会のありべき姿について議論を重ねることも重要です。また、組織としての議会の力を高める取り組みも進めていかなければなりません。

市民の皆様方の負託と信頼にこたえる、より良い沼津市議会となるよう、微力ではありますが、誠意取り組みます。



机の上に置いた癒しの鉢

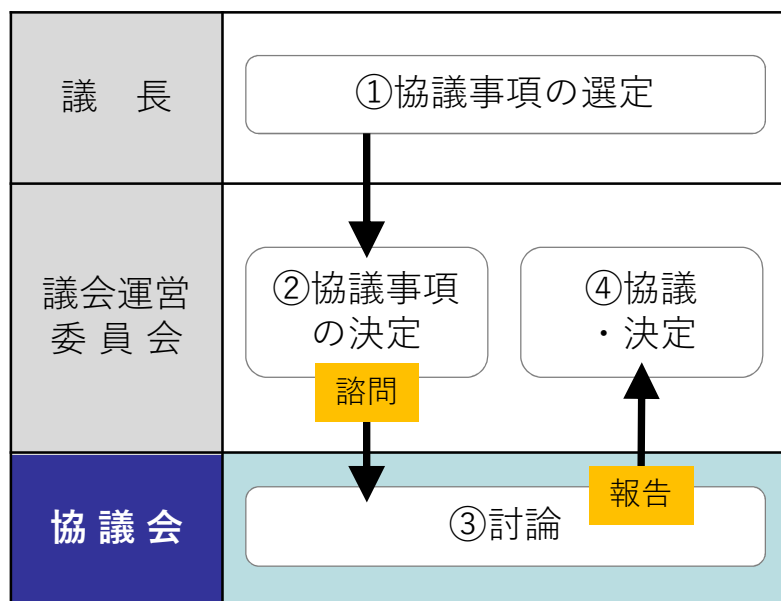
「議会運営等検討協議会」が設置されました

議会運営委員会（円滑な議会運営のために設置）の諮問機関として「議会運営等検討協議会」が設置され、座長に就任しました。議会運営委員会からの問い合わせのあった事項について討論し、意見を取りまとめ、報告するのが協議会の役割です。

設置された協議会の概要

- 名 称 議会運営等検討協議会
- 構 成 員 副議長（座長）と各会派から選任された議員の、計10名
- 検討事項 各会派から提出された反省点・改善点等

協議の進め方（協議事項毎に①～④を繰り返す）



© SA-YA

反省点・改善点等として、
・一般質問のあり方
・議案質疑のあり方
・議員の規律
など、多くの課題が挙げられています。
僭越ながら座長として、責務を果たしていきます。

深田のぼるよりひとこと

ご紹介した沼津版スマートシティの案件のように、地元企業や地域住民がまちづくりに参画し、自分たちのまちを育てる考え方は重要と考えます。タブレットの一人一台端末に代表される学校教育のICT化についても、こうした枠組みでの取り組みができないかと、関係各所と情報交換中です。

